

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	443	母子自立支援事業	01	01	一般会計
			03	03	民生費
基本施策	8	子どもを産み育てやすい環境をつくる。	04	04	児童福祉費
			03	03	母子福祉費
担当部課名	健康福祉部 少子化対策課		101	101	母子自立支援事業
作成者氏名	榎田ちえみ	連絡先	22-9658	01	母子自立支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	母子家庭及び寡婦	生活の安定と向上のために情報提供、相談指導等を行い、自立に必要な支援を行う。
本年度事業内容	①母子自立支援員を置き、生活一般についての相談や母子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸し付け等について指導を行う。②母子寡婦福祉会への補助	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等
		母子及び寡婦福祉法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,983	2,890	2,890
委託料			
報酬・共済費	1,843	1,845	1,845
その他	140	1,045	1,045
合計(A+B)	4,143	5,050	5,050
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金		150	150
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	4,143	4,900	4,900
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
相談件数	件	385	390	390			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
母子福祉資金の貸付件数	母子福祉資金を貸付け自立に向けて支援をおこなう。	件	5 目標 ()	8	8
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

母子福祉資金の貸付業務は県からの委任事務であるが助成措置がない。

評価	必要性	4	離婚の増加により母子家庭が増えてきている現状の中、自立に向けての指導をしていく必要がある。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		